

構造生物学研究センター報告

Status Report of Structural Biology Research Center

千田俊哉

高エネルギー加速器研究機構・物構研・構造生物学研究センター

構造生物学研究センターは、平成12年に設立以来、若槻センター長のもと、細胞内輸送の分子機構に関する構造生物学的研究を推進すると共に、タンパク質構造解析用のビームラインの高度化にも携わり、日本の構造生物学を強力に押し進めて来た。今年の1月にセンター長が交代し、現在新しい体制の確立に向けて努力をしている最中である。今後は、エピジェネティクスと疾病関連の研究に重点をおいて構造生物学的研究を推進していくと共に、ビームラインの高度化も引き続き推進し、新しいシステムの構築を目指して行きたいと考えている。また、創薬等支援技術基盤プラットフォーム事業の主要機関としての役割も果たして行きたい。本講演では、新しく始まる構造生物学プロジェクトの紹介とビームラインの現状等に関して報告する。